

「南区まちづくり活動サポート事業」実施報告書

令和元年12月25日

団体名 白根コミュニティ協議会

代表者氏名 会長 和田 進

1 提案事業名：旧白根配水塔 国登録有形文化財登録記念事業

2 事業内容

平成30年5月に国登録有形文化財に指定を受けた旧白根配水塔の歴史的価値や魅力を多くの人に伝え、地域資源としての活用方法について知識を深めるための事業を行いました。

① 5月18日（土）「記念講演会」

講師に長岡造形大の平山育男教授をお迎えし、配水塔の魅力についてご講演いただきました。地域住民96名参加。



② 6月 白根の伝統文化である白根大凧合戦において、有形文化財の登録を記念して大凧組から作成してもらった祝い凧を掲げ、広く観光客に周知しました。



③ 6月12日（水）諏訪木保育園児30名とコミ協役員でプランターに花を植栽し、配水塔に設置しました。水やりや草取り等の管理を12月まで行いました。



④ 8月23日（金）「視察研修会」

長岡水道公園（水道タンク）と燕市旧浄水場配水塔（水道の塔）を視察し、どのように整備され活用されているか、維持管理や事業、予算等について学ぶことができました。



⑤ 11月・12月 以前設置されていた看板を再利用し、配水塔 PR のための写真入り立看板を作成し、設置しました。また、配水塔を憩いの場とし、多くの人から訪れてもらうためベンチ2基を設置しました。



3 評価と課題（目的と成果、今後の取り組み等について記入してください。）

5月に開催した長岡造形大教授の平山育男先生の講演会では、全国の配水塔の地形の特殊性・特徴・仕組などの話しをされ、また白根の配水塔の魅力などに触れられました。会場は満席となり好評を得ました。

また6月に、子ども達から配水塔に関心を持ってもらうこと、配水塔を花で彩ることを目的とし、保育園児とコミ協役員でプランターに花の植栽作業を行いました。当初は配水塔で作業を行う予定でしたが、5月に滋賀で散歩中の園児を巻き込む悲惨な事故が起きてから散歩を自粛しているということで、園児から配水塔に来てもらうことができず、保育園の園庭で行いました。植栽した後、配水塔に運び設置しました。その後12月まで、コミ協で水やりや草取り等の管理を行いました。プランター設置については来年度も予算の範囲内で継続して取り組んでいきたいと考えています。

8月には、長岡水道公園（水道タンク）と燕市旧浄水場配水塔（水道の塔）に視察に行きました。長岡水道タンク周辺は水道公園として整備されて市民の憩いの場となっています。「水道タンク友の会」小林会長から維持管理や運営について等の説明していただき、情報交換等をした後、施設の見学をさせてもらいました。水道タンクの高さ42mの頭頂部まで登り、信濃川等の周辺景色を一望しました。

燕の配水塔では、隣接する公民館の職員から説明をしていただいた後、内部見学をしました。外壁の剥落がみられるが、修繕費などの予算は一切ついておらず、内部見学は休止しているということでした。

また、長岡水道公園では文化財ののぼりが掲げられており、監視室の中には多くのパネルが展示されており、見学者にPRを図っていました。これを受け、白根の配水塔に、11月に写真入りパネルを設置しました。夜間のライトアップされた配水塔や夙合戦時の配水塔写真をパネルにし、訪れた人から配水塔の様々な風景を楽しんでもらえるものだと思います。また、白根庭園と併せて周辺を散策した後、休憩ができるようにベンチを2基設置しました。提案の段階では、記念品（グッズ等）を作成する予定でしたが、長岡と燕の視察を踏まえて再検討し、ベンチの設置としました。

今回の事業を通して、地域の皆さんから配水塔に対してより高い関心をもってもらえることができたと思います。この南区のシンボルである旧白根配水塔を後世に残していくため、整備保存に向けた事業を引き続き白根コミ協で取り組んでいきます。